



2010/9/8開催・資産運用セミナー

日本の年金資産運用の歴史

～変革と危機の歴史に学ぶ知恵と将来への展望～

アンケート結果

HCアセットマネジメント株式会社

「セミナーテーマに関するアンケート」結果報告

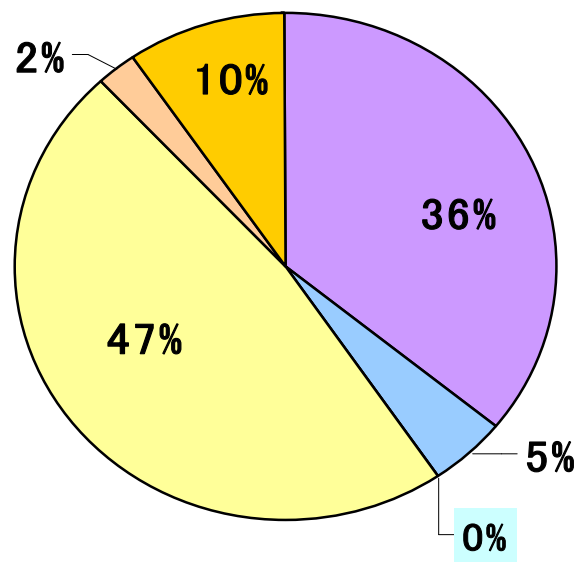
企業年金の資産運用についてアンケートを実施。

- ・セミナー参加者人数 計51名
- ・アンケート回答者人数 計42名

回答率 : 82%

※小数点第一位以下切捨

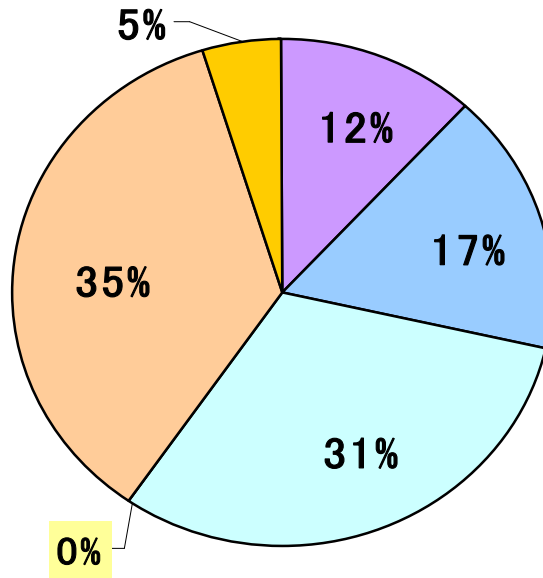
アンケートにご協力頂いた方の業種別割合



	人数
①	15
②	2
③	0
④	20
⑤	1
⑥	4
合計	42

- ①年金基金もしくは母体企業の資産運用管理者
- ②金融機関の自己資産運用担当者
- ③大学財団など、その他法人の資産運用担当者
- ④投資運用業者（信託銀行を含む）
- ⑤コンサルタント
- ⑥その他

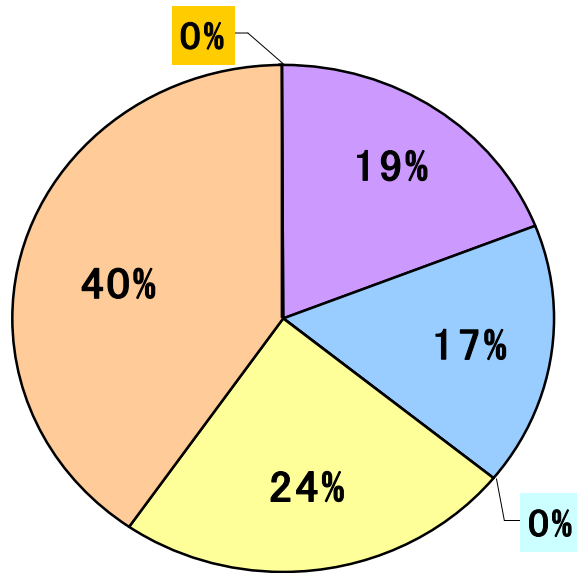
Q1 これまでの日本の企業年金の資産運用について、変革のきっかけになったものは、次のどれだとお考えでしょうか。
一番大きな影響を与えたとお考えのものを、一つだけお選びください。



	人数
①	5
②	7
③	13
④	0
⑤	15
⑥	2
合計	42

- ①長銀、日債銀の一時国有化に代表される金融危機
- ②退職給付会計の導入
- ③時価主義の導入
- ④代行返上
- ⑤超低金利の定着
- ⑥その他

Q2 いま企業年金の資産運用のあり方を見直すとしたら、考慮すべき外的要因として、次のどれが重要だとお考えでしょうか。
一番重要と思われるものを、一つだけお選びください。



	人数
①	8
②	7
③	0
④	10
⑤	17
⑥	0
合計	42

- ①成熟度の高まりと給付額の増加
- ②積立不足
- ③母体企業の厳しい経営環境
- ④IFRSと退職給付会計
- ⑤経済・金融環境の構造的変化
- ⑥その他